

ホタテガイ採苗速報

採苗器の袋の下に落ちた稚貝は使わないようにしましょう

1 稚貝採取時の稚貝の状況

平成29年7月14日～8月4日に水産総合研究所の2実験漁場と漁業者19人の養殖施設から回収した採苗器の稚貝（選別後）の平均殻長は8.0mm、異常貝率は0.4%、へい死率は1.5%でした。

2 海況

各ブイの8月11日～17日の日平均水温は、表1のとおりです。平年と比較すると、15m層の8月第3半旬平均水温は、平館ブイと青森ブイでやや低め、東湾ブイで平年並みとなっています。

表1 各ブイの1週間(8/11～8/17)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	16.7～20.4	東田沢ブイ	17.7～20.2	浜奥内ブイ	16.0～20.4
蓬田ブイ	18.7～20.3	清水川ブイ	17.0～20.5	川内ブイ	15.5～20.5
奥内ブイ	18.2～21.1	野辺地ブイ	16.3～19.9	脇野沢ブイ	19.3～20.1
青森ブイ	16.4～20.8	東湾ブイ	14.2～20.6		
浦田ブイ	17.7～20.7	横浜ブイ	15.8～20.4		

3 稚貝採取の注意点

現在、水温は平年並み～やや低めになっていますが、7月27日からヤマセが続き、稚貝採取が遅れている地区があります。

稚貝は成長すると袋の下に落ちて溜まり、異常貝率やへい死率が高くなる (図1～2) ので、**採苗器の袋の下に落ちた稚貝は使わない**ようにしましょう。

また、採取済みの稚貝はヤマセによる強い潮流によって、パールネットの中で振られて異常貝やへい死が発生する可能性があります。**採取後の施設は中層以深に沈め、立ちきり(土俵)やオモリをつけて、施設やネットを安定**させましょう。

(その他の注意事項)

(1) 稚貝を大切に扱きましょう。

○作業は早朝の涼しい時間帯に行い、タライや水槽の水温が上がらないように、シート等で直射日光を防ぎましょう。

○タライや水槽の水は出来るだけ深い水深帯から汲み上げ、かけ流しにしましょう。かけ流しにできない人は、タライの海水を頻繁に交換してください。かけ流しまたは海水の交換がないと水温上昇および酸欠で稚貝が死んだり、成長不良になることがあります。

○稚貝は、海水温が26°Cを超えるとへい死の危険性が高くなります。海水温を計ったり、海況自動観測ブイならびに水温自動観測ブイの水温(下記URL、QRコード)を参考にしながら26°Cを超す日は稚貝採取をしないでください。

○稚貝は乾燥にも弱いので、手早く作業を行いましょう。

(2) 適正保有数、適正収容数を守りましょう。

○稚貝採取では決められた保有数を守りましょう。

○パールネット1段当たりの収容数を適正にしましょう。

○稚貝採取の遅れで分散も遅れる可能性があるため、パールネットへ少なめに稚貝を入れましょう。

(3) 採取後の管理に気をつけましょう。

○採取後の稚貝が足糸でネットに付着しているかどうか見ながら作業を進めましょう。

○採取後も一部の採苗器を残しておきましょう。

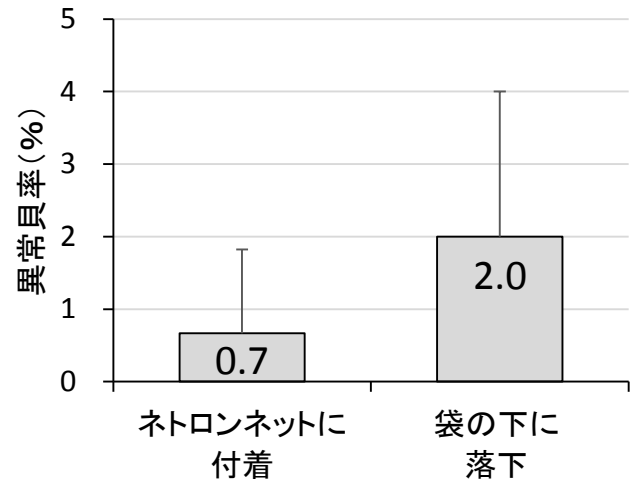


図1 採苗器のホタテガイ稚貝(2分選別後)の異常貝率

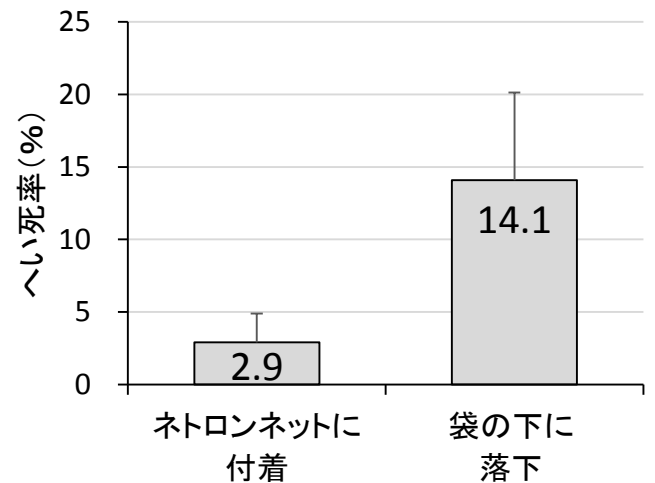


図2 採苗器のホタテガイ稚貝(2分選別後)のへい死率

